

2026年8月4日（火）発表
愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学
芸術情報・広報課（担当：橋川・池田・藤原）
Tel.0561-76-2873 / Fax.0561-62-0083
E-mail. geijo@mail.aichi-fam-u.ac.jp

国際芸術祭「あいち」芸術大学連携プロジェクト

岩城薫乃『埋没突出』 HE JING『standing here』

+

「光射す器 種蔵の影 2021-2026」

このたび、国際芸術祭「あいち」芸術大学連携プロジェクトとして、岩城薫乃『埋没突出』、HE JING『standing here』を開催いたします。

『埋没突出』で岩城薫乃は、「空間に沿ったモノの在り方」を軸に制作した作品を展示します。それらを「埋没しつつ空間を拡張する装置」として位置づけ、埋没と突出のあいだにある境界膜を探ること、空間認識の再考を試みます。

『standing here』でHEJINGは、自身の経験と身体を起点に、外部環境やモノの特性に応じて展開してきた近年の制作実践の延長として、作品と観者のあいだで交錯する主体と客体の関係を探ります。

二人の個展開催にあたり、同時開催として、2021年から二人が深く関わる岐阜県飛騨市宮川町種蔵集落で継続開催される展覧会「光射す器 種蔵の影」のこれまでとこれからを提示いたします。

多くの方にご覧いただきたく、是非ともお取り上げいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

タイトル 岩城薫乃『埋没突出』 HE JING『standing here』

+「光射す器 種蔵の影 2021-2026」

会場 アートラボあいち

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目 4-13 愛知県庁大津橋分室 2・3階

TEL&FAX : 052-961-6633 URL: <https://aichitriennale.jp/ala/>

展示期間 2026年9月9日（水）～ 10月4日（日）『埋没突出』+「光射す器 種蔵の影 2021-2026」

2026年10月8日（木）～11月1日（日）『standing here』+「光射す器 種蔵の影 2021-2026」

開廊時間 11:00～19:00

入場料 無料

主催 愛知県立芸術大学、国際芸術祭「あいち」組織委員会

助成 文化庁

岩城薫乃 Iwaki Yukino

<作家略歴>

2023 愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士前期課程美術専攻油画・版画領域 修了

2026 愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻油画・版画分野 修了（芸術 博士）

<主な展示歴>

2022 『富山市美術展 インスタレーション部門』旧小羽小学校/富山

2026 『愛知県立芸術大学博士学位論文・作品展』愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA・KURA/愛知



光射す器 種蔵の影 2025『場につき』

HE JING

<作家略歴>

2022 愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士前期課程美術専攻油画・版画領域 修了

2026 愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻油画・版画分野 修了（芸術 博士）

<主な展示歴>

2024 とよたまちなか芸術祭 2024 『booost』/愛知

2025 『コンテクストと物質、そしてその間』名古屋市民ギャラリー栄/愛知

2021-2023、2025 『光射す器 種蔵の影』種蔵集落/岐阜



光射す器 種蔵の影 2025『登らなくてもいい 2025.11.8-12.7』

「光射す器 種蔵の影 2021-2026」出品作品作家

有田西騎 猪狩日菜 猪狩雅則 井出創太郎 伊藤美優 岩城薫乃 岩嶋百伽 片山萌々香 栗山奈央 小林千乃
澤田天音 示崎マキ 下村栞由 高橋天真音 都竹匠 TEI YOUYOU 富川漠 中根光駿 西田咲貴 羽佐田寛汰
長谷川崇平 HE JING

【問合せ】愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 TEL: 0561-76-2873（平日 9 : 00～17 : 30）

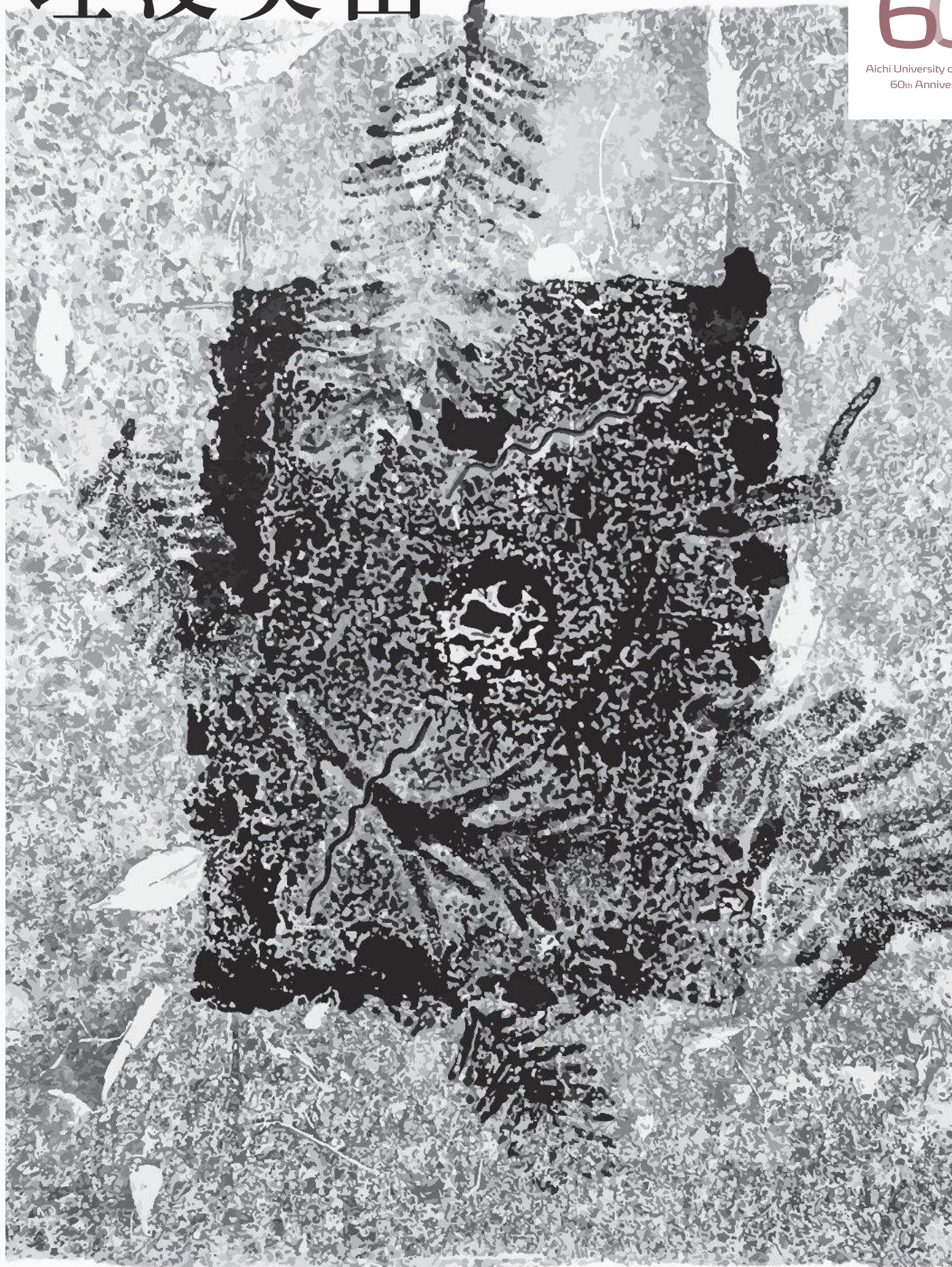
埋没突出

まいぼつ とっしゅつ



60

Aichi University of the Arts
60th Anniversary



2026.9.9.Wed — 2026.10.4.Sun

11:00 — 19:00

休館日 9/14 15 24 25 28 29

入場無料

アートラボあいち

 愛知県立芸術大学



上：《隔たりの庭》2024
木材、雁皮紙、鉛筆、倉の拾物

下：《場につき》2025
木材、煉瓦、コンクリート、チョーク

岩城薫乃（いわき ゆきの）

2026年愛知県立芸術大学
大学院美術研究科博士後期
課程修了。

「場への埋没」をテーマに、
インスタレーションや版画を用
いた作品を展開。環境や既
存の空間にモノが溶け込み、
そこから現れる関係性を探求
している。



作家 Instagram



愛知県立芸術大学 HP

2026.9.9.Wed

2026.10.4.Sun

11:00 — 19:00

休館日 9/14 15 24 25 28 29

入場無料

アートラボあいち

埋没突出

[同時開催]

『光射す器 種蔵の影 2021-2026 』



● お問い合わせ先

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

0561-76-2873

(平日9:00—17:30)

ART LAB AICHI

〒460-0002

名古屋市中区丸の内三丁目4-13

愛知県庁大津橋分室2階・3階

Tel&Fax : 052-961-6633

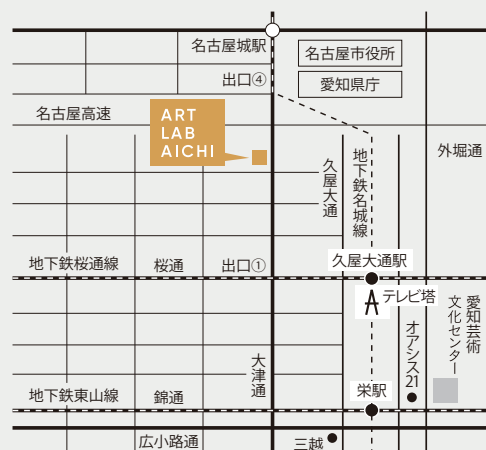
E-mail : ala@aichitriennale.jp

WEB : <https://aichitriennale.jp/ala/>

[交通案内]

・地下鉄名城線「名古屋城」4番出口から徒歩5分

・地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」1番出口から徒歩8分



主催：愛知県立芸術大学、国際芸術祭「あいち」組織委員会
助成：文化庁



令和8年度 文化庁
文化芸術創造拠点形成事業



standing here

2026.10.8 — 11.1

11:00 — 19:00

HEJING

ART LAB AICHI 入場無料
休館日 | 10/13、14、19、20、26、27



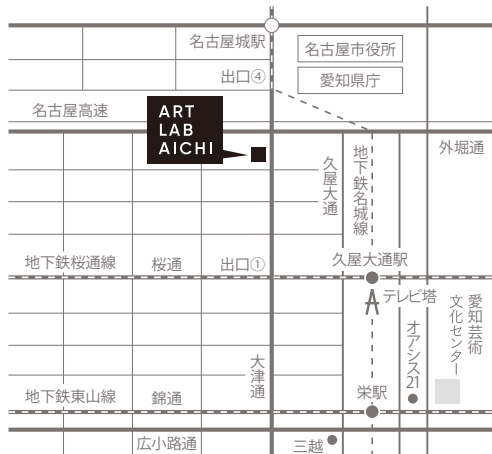
Aichi University of the Arts
60th Anniversary



HEJINGは近年、「身体への回帰」をめぐる制作に継続的に取り組んでいる。HEJINGは、自らの身体を場所に置くことを制作プロセスの一環とし、そこで生じる感覚や記憶、意識の変化を、光、映像、写真、テキスト、既製品などを用いたインスタレーションへと展開してきた。それらの実践では、観者の移動や停留、視線の変化を通して、身体と空間のあいだに生じる関係が経験として立ち上がり、身体と外界との接続が捉え直されていく。

本展は、上図の作品《standing here 2026.2.20—2.26》で試みられた、物質、時間、虚と実、そして「今、ここ」に立つ存在をめぐる問いを引き継ぐものである。同作では、入力信号を持たないプロジェクターの青い光、鏡、壁の角が関係し合うことで、冷蔵庫に呼応する実体のない立方体が空間に浮かび上がった。また、空間内に置かれた言葉と時間は、佇む物体の存在を指し示し、観者をその空間へと招き入れる手がかりとして機能していた。ここには、身体による感知を通して、内側で更新され続ける「現れ」への関心がうかがえる。

本展では、こうした問題意識をさらに展開し、変化し続ける「現れ」がART LAB AICHIの空間においてどのように生成され、観者の身体にどのように感知されるのかを問う。



standing here・HEJING

会期 | 2026年10月8日(木) - 11月1日(日)
時間 | 11:00 - 19:00
休館日 | 10月13日(火)、14日(水)、19日(月)
20日(火)、26日(月)、27日(火)

入場無料

ART LAB AICHI
〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4 - 13
愛知県庁大津橋分室2階・3階

Tel & Fax : 052-961-6633
E-mail : ala@aichitriennale.jp
<https://aichitriennale.jp/ala/>

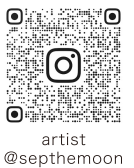
交通案内

地下鉄名城線「名古屋城」4番出口から徒歩5分
地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」1番出口から徒歩8分

HEJING・何静
中国・四川省生まれ

中央美術学院造型学部絵画学科版画専攻卒業後、日本の写真家から受けた影響をきっかけに来日。

愛知県立芸術大学大学院美術研究科にて博士前期課程(油画・版画領域)および博士後期課程(油画・版画分野)を修了。



artist
@septhemoon



web
愛知県立芸術大学

同時開催

「光射す器 種蔵の影 2021—2026」



展覧会に関するお問い合わせ先

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

Tel | 0561-76-2873 (平日 9:00 - 17:30)



愛知県立芸術大学



令和8年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業